

『福山大学経済学論集』

第 45 卷

(2021 年 3 月) 抜 刷

コロナ禍における大学スポーツの活動状況に関する一考察

吉 田 卓 史

コロナ禍における大学スポーツの活動状況に関する一考察

吉田卓史¹

2020 年は日本スポーツ界において今後の発展のためにも転機となる 1 年になるはずだった。しかし世界的な新型コロナウイルスの蔓延により 7 月の東京オリンピック及び 8 月のパラリンピックとも延期の決断がなされた。緊急事態宣言下ではプロ・アマ問わずほぼ全てのスポーツ活動がストップしアスリート達にとっては日頃の成果を発揮する場がないだけでなくトレーニングすらままならない状況にあった。アスリートにとっては様々な面で真価を問われる 1 年となっている。そんな状況の中 2 年目を迎えた一般社団法人大学スポーツ協会（通称 UNIVAS）は新たな取り組みを開始している。また、大学生アスリート達もこれまでになく主体的な取り組みを実施し新たな価値を創造すべく意欲的に活動をしている。

そこで本論文では UNIVAS を中心とした大学スポーツの新たな取り組みについてまとめるとともに、大学生アスリートの主体的な活動による大学スポーツの新たな価値について考察してみる。

キーワード：大学スポーツ UNIVAS 主体性

1, 2 年目の UNIVAS の現状

平成 31 年 3 月に設立された一般社団法人大学スポーツ協会（通称 UNIVAS）は 2 年目を迎えている。活動理念は「大学スポーツの振興—学生アスリートが生き生きとしてスポーツと学修に取り組む、大学・競技団体がさらなる発展を遂げる」「大学スポーツ参画人口の拡大—大学スポーツに関わる人々を性別や障がいの有無等に関わらず平等に増やしていく」とし、大学生活においてスポーツをする学生を増やす活動、大学スポーツを観戦、応援する人口を増やす活動、アスリートと運動部活動への支援を強固にする活動に取り組んでいる。

2020 年 10 月時点で、加盟大学は 221 大学、加盟競技団体は 32 団体と 3 連携会員となっている。

1.1 2019 年度 UNIVAS の主な活動

1, デュアルキャリア

体育会所属大学生の入学前から在学中、そして卒業後を見据えたデュアルキャリア形成支援策

¹ 福山大学経済学部経済学科 yoshida@fukuyama-u.ac.jp

を複合的に立案推進することを目的として、デュアルキャリア委員会を設置。委員内に「デュアルキャリア部会」と「学業基準設定部会」を設け体育会所属学生のキャリアアップを目指す。具体的な取り組みとして、「入学前教育プログラム」「キャプテン対象のリーダーズキャンプ」、組織マネジメント研修を目的とした「GMG ミーティング」を立案。2年目に本格的な活動をスタートさせる。

2, 安心安全

体育会所属学生が安心安全に活動に取り組むことを目的とした安心安全委員会を設置。ハラスメントや暴力に関する学生アスリートからの相談を直接受け付ける「学生相談窓口の設置」、安全対策講習会や大会の救護体制の充実に向けた助成制度である「安全対策への助成制度」、安全対策のあり方や事故の予防策、対処法を競技横断で提示する「安全安心ガイドライン」に関すること、また「自己・怪我予防の調査研究」「保険加入促進策」などが主な取り組みとなる

3, UNIVAS CUP

これまでの大学スポーツは競技ごとの大学日本一を競い合う状況であったが、さらに多くの方に関心を高めてもらう目的で「UNIVAS CUP」を開催。UNIVAS 会員の 32 競技団体が開催する大会のうち、全国の大学が参加して大学日本一を決める大会を指定大会として設定し該当指定大会の順位に応じてポイントを獲得。競技横断した大学対抗戦となる。さらに指定大会は UNIVAS ホームページにおいて動画配信される。2019 年度は指定 31 大会でのポイント獲得で競い、第 1 位は早稲田大学、第 2 位日本体育大学、第 3 位東海大学の順位であった。

4, UNIVAS AWARDS²

学生アスリートの 1 年間の活躍を称え、競技成績のみならず、学業充実や安心安全、大学スポーツの盛り上げなどに著しい成果をあげた人や団体に贈られるアワードを設置。大学スポーツを通じて「卓越した人材を輩出する」という UNIVAS の理念を体現し、大学スポーツの発展に貢献した学生アスリートやスポーツに関わる学生、指導者、団体等を表彰し、大学スポーツの価値を高めることを目指す。2019 年度のパーソン・オブ・イヤーには青山学院大学レスリング部の藤井達哉氏が受賞。(受賞理由は、個人でインカレ 3 連覇を成し遂げるとともに、学業成績も学部内でトップクラスであり、さらに災害支援等のボランティア活動に積極的に参加しリーダーシップを発揮)

1.2 2020 年度の活動状況

2年目となる 2020 年には新たな取組がスタートしている。アカデミックパートナーである河合塾グループ株式会社 KEI アドバンスと連携し入学前教育プログラムを開発。スポーツ推薦等で

² UNIVAS AWARD 2019 https://www.univas.jp/project/univas_awards/

入学を予定している学生に対して「入学準備」と「学習支援」の取り組みを提供している。また、株式会社マイナビと協力し、新チームのキャプテン候補を募集「UNIVAS リーダーズキャンプ 2020」を開催しチーム運営のノウハウやキャリアアップについての議論を重ねるプログラムを提供。さらに運動部学生が学業と部活動を通じて自身のキャリアを豊かにするために様々なことを取り組み「デュアルキャリア」を形成することを目的にデュアルキャリアプログラムを開発。「オンラインセミナー」、「キャリア適性診断」、「キャリア相談窓口」の3つのサービスを提供している。また、主務やマネージャーなど学生スタッフを対象にした「GMG ミーティング」を開催し組織マネジメントを学ぶ機会を提供している。また、表1に示すように UNIVAS CUP2020 コロナの状況を鑑みながら各競技団体が対策を講じた上で開催している。

また、スポーツ庁は「大学スポーツ進行推進事業」を毎年選定している。令和2年度は表2のように8大学が選定されている。中国地方では新たに広島大学の取り組みが選定された。広島大学では学内に「広島大学スポーツセンター³」を設立。センター内にアスレチックデパートメントを設置するとともにスポーツアドミニストレータを配置し運用することで、大学スポーツが持つ・人材輩出・経済活性化・地域貢献などの潜在力を最大化することを目的としている。

表1 UNIVASCUP 2020指定競技全国大会実施状況

| 競技 | 主催団体 | 大会名 | 中止等 |
|----------------|-----------------------|--------------------------|-----|
| 1 野球 | 公益財団法人全日本大学野球連盟 | 全日本大学野球選手権大会 | ○ |
| 2 アーチェリー | 全日本学生アーチェリー連盟 | 全日本学生アーチェリー王座決定戦 | |
| 3 トライアスロン | 公益社団法人日本トライアスロン連合 | 日本U23トライアスロン選手権 | |
| 4 ソフトテニス | 日本学生ソフトテニス連盟 | 全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会 | ○ |
| 5 テニス | 全日本学生テニス連盟 | 全日本学生テニス選手権大会 | |
| 6 なぎなた | 公益財団法人全日本なぎなた連盟 | 全日本学生なぎなた選手権大会 | ○ |
| 7 カヌー | 全日本学生カヌー連盟 | 全日本学生カヌースプリント選手権大会 | |
| 8 レスリング | 全日本学生レスリング連盟 | 全日本大学グレコローマン選手権、全日本大学選手権 | |
| 9 ソフトボール | 全日本大学ソフトボール連盟 | 全日本大学ソフトボール選手権大会 | |
| 10 ボート | 公益社団法人日本ボート協会 | 全日本大学選手権大会 | |
| 11 水泳 | 公益財団法人日本水泳連盟 | 日本学生選手権水泳競技大会(競泳) | |
| 12 フライングディスク | 一般社団法人日本フライングディスク協会 | 全日本大学アルティメット選手権大会 | |
| 13 柔道 | 一般財団法人全日本学生柔道連盟 | 全日本学生柔道体重別選手権大会 | ○ |
| 14 ライフル射撃 | 日本学生ライフル射撃連盟 | 全日本学生スポーツ射撃選手権大会 | |
| 15 サーフィン | 一般社団法人日本学生サーフィン連盟 | 全日本学生サーフィン選手権大会 | |
| 16 ホッケー | 日本学生ホッケー連盟 | 全日本学生ホッケー選手権大会 | |
| 17 ゴルフ | 日本学生ゴルフ連盟 | 信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦 | ○ |
| 18 馬術 | 公益社団法人日本馬術連盟 | 全日本学生馬術大会 | |
| 19 アメリカンフットボール | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 | 全日本大学アメリカンフットボール選手権 | |
| 20 少林寺拳法 | 一般財団法人少林寺拳法連盟 | 少林寺拳法全日本学生大会 | |
| 21 ハンドボール | 全日本学生ハンドボール連盟 | 全日本学生ハンドボール選手権大会 | ○ |
| 22 オリエンテーリング | 公益社団法人日本オリエンテーリング協会 | 日本学生オリエンテーリング選手権 | |
| 23 空手 | 一般財団法人全日本学生空手道連盟 | 全日本大学空手道選手権大会 | ○ |
| 24 ウエイトリフティング | 公益社団法人日本ウエイトリフティング協会 | 全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 | |
| 25 バレーボール | 一般財団法人全日本大学バレーボール連盟 | 全日本バレーボール大学男女選手権 | |
| 26 ラグビー | 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 | 全国大学ラグビーフットボール選手権大会 | |
| 27 バスケットボール | 一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟 | 全日本大学バスケットボール選手権大会 | |
| 28 スポーツチャンバラ | 一般社団法人日本スポーツチャンバラ学生連盟 | 全日本学生スポーツチャンバラ選手権大会 | |
| 29 ボクシング | 一般財団法人日本ボクシング連盟 | 全日本大学ボクシング王座決定戦 | ○ |
| 30 テコンドー | 全日本テコンドー協会 | 全日本学生テコンドー選手権大会 | |
| 31 スキー | 公益社団法人全日本学生スキー連盟 | 全日本学生スキー選手権大会 | |
| 32 グライダー | 公益財団法人日本学生航空連盟 | 全日本学生グライダー競技大会 | |

³ 広島大学スポーツセンター <https://sports.hiroshima-u.ac.jp/>

コロナ禍における大学スポーツの活動状況に関する一考察

表2 : スポーツ庁「大学スポーツ振興推進事業」選定大学一覧

| 令和元年度 | |
|----------|---|
| 愛知学院大学 | ・スポーツ分野統括組織の設置・学内スポーツの活性化と地域スポーツ連携事業の推進・学生アスリートの入学前プログラムの開発 |
| 四国大学 | ・四国大学スポーツ推進機構の設立・強化指定6競技部のスポーツフェスタ実施による地域活性化とスポーツ文化の振興 ・大学対抗試合（ホーム＆アウェイ型）の開催による大学スポーツ応援機運の醸成 |
| 中京大学 | ・スポーツビジネスイノベーション『スポーツ×子育てフェスタ』の試験の実施・東海地区スポーツアドミニストレーター研修会の実施及びネットワーク構築 |
| 帝京平成大学 | ・スポーツ局と自治体などとの連携による地域貢献、地域活性化の施策の立案・女性トップアスリートの競技力向上及び傷害予防に関する研究 |
| 長崎国際大学 | ・スポーツプロモーション事業（以下、SP事業）・学生スポーツアドミニストレーター事業（以下、SA事業） ・SP事業＋SA事業＝人口流出県：長崎県に対するスポーツ振興を伴った「地方創生」に関する人材育成事業の可能性 |
| 関西大学 | ・学生アスリート向けキャリア形成支援プログラム「KSAP（※）」の推進・自治体や総合型地域スポーツクラブと連携したスクール事業・地域貢献活動の拡充 |
| 国士舘大学 | ・大学スポーツの安全・安心の確立に資するプラットフォーム構築事業 ・スポーツ倫理・教育に関するワークショップの開催及び教育プログラムの開発事業 |
| 仙台大学 | ・ホーム＆アウェイ方式での試合の試行的な実験実施・大学情報のさらなる発信強化をめざした「仙スポ！」の運用 |
| 東京国際大学 | ・国際スポーツアドミニストレータ育成のための国際経験豊富なスポーツ指導者によるスポーツ教育とネイティブ教員による品格ある英語教育の推進 ・スポーツ医科学的理論に基づく外傷・障害予防策の導入の推進 |
| 新潟医療福祉大学 | ・アスリートの障害発生予防を目的とした調査研究と予防的介入活動・新潟医療福祉大学版 学生アスリートのキャリア形成支援プログラムの構築 |
| 法政大学 | ・学生アスリートが自分らしいキャリアを選択し、『スポーツ・ライフ・バランス』を実現するための支援モデルの構築とその実施 |
| 武庫川女子大学 | ・種目別マスコットキャラクターデザイン、クラブPR動画の作成・汎用アプリケーションを活用したARポスター制作・情報発信 |
| 山梨学院大学 | ・産学連携を中心とした本学カレッジスポーツのPRとマーケティング・本学スポーツシーズ（スポーツ科学の知見等）を活用したスポーツ情報の発信 ・活動の実施主体となる「スポーツ振興特別委員会」の設置 |

| 令和2年度 | |
|----------|---|
| 愛知学院大学 | ・「スポーツ・健康づくりによるまちづくりコンソーシアム」の設置 ・地域との連携を基にした大学資源の有効活用による事業創出—「AGUCUP」の開催— |
| 青山学院大学 | ・「育トレコンディショニング」等の大学オリジナルシーズの事業化のためのコンソーシアム活動 ・スポーツで地域の経済活性化と健康増進を推進する人材を養成するための履修証明プログラムの試行 |
| 大阪体育大学 | ・泉州（大阪府南西部地域）のスポーツ・健康資源実態調査にもとづくプロモーション展開と「泉州アクティブライフマップ」の作成 ・大体大ビジョン2024の拠点づくりの具現化を通じた地域活性化のネットワーク構築と、それらの財源確保や調達策の検証 |
| 関西国際大学 | ・学生スポーツ力×防災・医療資源を活用し、SDGsと連動した地域の活性化、防災力向上、地域の健康増進を実現するためのグランドデザインの策定 将来的な地域スポーツコミッション創設を見据えた地域連携・地域活性化の推進体制の構築 |
| 順天堂大学 | ・パラスポーツ体験会を通じた共生社会形成への理解推進事業 ・「共生社会マスター」認定プログラムの開発及び地域における人材育成事業 |
| 広島大学 | ・広島大学スポーツセンター「アスレチックデパートメント部門」の設置及びSAの配置 ・SA主導によるマーケティング事業の展開 ・自治体及び企業との連携事業の実施及びコンソーシアムの形成 |
| 長崎国際大学 | ・産学官金連携事業による部活動応援プロジェクト(CAS)事業+スポーツプロモーション(SP)事業+学生スポーツアドミニストレーター育成(SA)事業=地方創生NIJスポーツ人材育成事業 Ver.2” ・【人口流出が課題である地方都市における「大学スポーツ振興」、「地方スポーツ振興」の推進による 地方創生への挑戦”第2弾】 |
| 新潟医療福祉大学 | ・地域オープン参加型駅伝大会の実施 ・スポーツ傷害予防イベントの実施 |

2, コロナ禍における大学スポーツの現状

2.1 コロナウイルス関連の時系列

2020年1月6日に中国武漢にて原因不明の肺炎が発生し厚生労働省が注意喚起を行う。1月14日にWHOが新型コロナウイルスを確認すると1月16日日本国内で初めて感染が確認される。その後またたく間に感染が広まり学校活動、スポーツ活動とも影響が出始める。

大学でも卒業式等 2019 年度末の行事等中止もしくは縮小され行われるとともに部活動を中心と

したスポーツ活動及び各競技団体主催の春季休業中の大会等も同様に中止となっている。3月24日には東京パラリンピック、パラリンピックの延期が正式に決定される。そして4月16日には非常事態宣言が全国に拡大され、教育及び経済活動など軒並み停止となるなどこれまでに経験したことのない事態となる。夏の全国高校野球選手権、インターハイなどアマチュアスポーツ大会も中止となり大きな影響を与えている。その後5月25日に全国で非常事態宣言が解除され少しずつであるが日常生活がもどり感染拡大防止策を取りながらスポーツ活動も再開されつつある。プロスポーツ界ではプロ野球が6月19日に開幕。Jリーグが6月27日にJ2及びJ3が再開し翌週の7月4日にJ1リーグが再開した。まずは無観客試合からスタートし、7月10日にプロ野球、Jリーグ友観客を入れた公式戦を再開。また7月19日には大相撲7月場所が開幕。関係者に感染者が出るケースもあるがコロナ禍の中での新たな活動体制を構築しながらスポーツ界も動き出している。アマチュアスポーツも8月から9月にかけて各競技団体において様々な感染防止策をとった上で公式戦も再開されて、全国大会開催の目処も立っているのが現状である。

2.2 スポーツ活動運動再開に向けての動き

スポーツ活動再開に向けては関係各所から発表されるガイドラインを参考にすることとなる。5月14日にスポーツ庁より「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」、また日本スポーツ協会より「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」が公表されこのガイドラインに基づいて個々の競技団体等で個別のガイドラインを作成され部活動等の組織へ展開されることとなる。日本サッカー協会は5月22日に「JFAサッカー活動の再開に向けたガイドライン」を策定し、47都道府県のサッカー協会及び各種別のサッカー連盟を通じて各チームへ伝達するとともに、合わせて「チーム・指導者用新型コロナウイルス対応版チェックリスト」を作成し実際に活動を再開するにあたって具体的なチェックできる体制を整えた。また、剣道や柔道のように相手との距離の近い競技の場合は球技と比較してもより慎重に再開する必要がある。全日本剣道連盟は6月4日に「対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を策定、そこでは防具下でもマスクの着用、剣道特有の発生を抑制、鰐競り合いの禁止など感染防止と稽古との両立を図るための工夫されたものである。大学スポーツ協会（UNIVAS）も6月22日「新型コロナウイルス感染症対策としてのUNIVAS大学スポーツ活動再開ガイドライン」を公表。公表時点での政府方針やスポーツ団体のガイドラインを踏まえ、大学スポーツを再開するに当たっての基準を整理。このガイドラインでは「新型コロナウイルス感染症について」、「社会的活動の自粛・制限の段階的緩和」、「大学スポーツ活動再開について」、「運動部として実施すべきこと」、「大学（スポーツ部局）として実施すべきこと」の5項目から構成されており、安全に留意しながら大学スポーツが再開できるよう促している。

表3-1 2020年度UNIVAS加盟状況サッカー各地域リーグ(1部)

| 地域 | 1部加盟 | UNIVAS | % |
|---------|------|--------|------|
| 北海道 | 8 | 6 | 75.0 |
| 東北 | 8 | 5 | 62.5 |
| 関東 | 12 | 7 | 58.3 |
| 北信越 | 8 | 7 | 87.5 |
| 東海 | 12 | 10 | 83.3 |
| 関西 | 12 | 8 | 66.7 |
| 中国 | 10 | 5 | 50.0 |
| 四国 | 6 | 5 | 83.3 |
| 九州 | 12 | 10 | 83.3 |
| 合計 | 88 | 63 | 71.6 |
| 2部リーグ合計 | 88 | 43 | 48.9 |

表3-2 2020年度UNIVAS加盟状況野球各地域リーグ(1部)

| 地域 | 1部加盟 | UNIVAS | % |
|--------|------|--------|-------|
| 広島六大学 | 6 | 5 | 83.3 |
| 中国六大学 | 6 | 2 | 33.3 |
| 四国地区 | 6 | 6 | 100.0 |
| 東京六大学 | 6 | 3 | 50.0 |
| 東都大学野球 | 6 | 4 | 66.7 |
| 首都大学野球 | 6 | 4 | 66.7 |
| 関西六大学 | 6 | 4 | 66.7 |
| 関西学生野球 | 6 | 3 | 50.0 |
| 愛知大学野球 | 6 | 6 | 100.0 |
| 中国四国地区 | 18 | 13 | 72.2 |
| 中国四国2部 | 21 | 7 | 33.3 |

表4-1 2020年度中国大学サッカーリーグ1部UNIVAS加盟状況

| | |
|-----------|--------------------------------------|
| UNIVAS加盟 | IPU環太平洋大学 広島大学 広島修道大学 広島経済大学 山口大学 |
| UNIVAS非加盟 | 吉備国際大学 福山大学 福山平成大学 徳山大学 鳥取大学 |

表4-2 2020年度中国地域 大学野球UNIVAS加盟状況

| | |
|-----------|--|
| UNIVAS加盟 | IPU環太平洋大学 広島文化学園大学 広島大学 広島国際学院大学 広島修道大学 広島経済大学 近畿大学工学部 |
| UNIVAS非加盟 | 吉備国際大学 福山大学 徳山大学 東亜大学 広島工業大学 |

表5 :スポーツ関連団体によるコロナガイドライン一覧

| ガイドライン | 発行団体 | 発行日 |
|--|-----------------------------|-----------|
| 社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン | スポーツ庁 | 2020.5.14 |
| スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン | 公益財団法人日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会 | 2020.5.14 |
| 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル | 文部科学省 | 2020.5.22 |
| JFAサッカー活動の再開に向けたガイドライン | 日本サッカー協会 | 2020.5.22 |
| 対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン | 一般財団法人全日本剣道連盟 | 2020.6.4 |
| 新型コロナウイルス感染症対策としての「UNIVAS大学スポーツ活動再開ガイドライン」 | 一般社団法人大学スポーツ協会 | 2020.6.18 |

1, 全日本大学サッカー連盟の動き

通常であれば全日本大学サッカー連盟の年間主要大会は4月から全国9地域毎にリーグ戦を開催。各地域リーグの上位入賞チームによって全日本大学サッカー選手権大会(12月)を開催。また9月には各地域でのトーナメント戦勝者を集めた総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントを開催する。2020年度は全地域春季のリーグ戦は中止となり、夏以降の再開について議論を重ねてきた。また、大学におけるスポーツ活動再開は原則大学当局の判断に委ねられており、活動状況は大学によって異なる。多くの大学は6月中旬から7月にかけて部活動の再開が認められ、それに合わせ夏から秋にかけて公式戦も再開されつつある。各地域に先駆けて関東大学サッカー連盟は7月4日からリーグ戦を再開。大学による活動状況に差があるものの、まずは大学生アスリートのために試合の場を提供することを優先に決断。開幕に際して独自の感染防止マニュアルを作成するとともに以下のような感染対策を施す。1, 全試合茨城県にて集中開催、2, 選手スタッフとも最低限の人数のみ入場可、3, 全試合完全無観客、4, 会場までの移動は公共交通機関の使用を禁止しバスでのみ可能、と他の地域さらには他競技団体に対して良いロールモデルとなっている。この取組を参考に全国各地域において9月以降リーグ戦が開幕し日頃の成果を出すべ

く試合を展開している状況である。また、全国大会については今年度のみ特別な大会を開催することを7月に決定。「2020年度限定特別大会 #ATARIMAENI CUP2020」として2021年1月に開催予定。加盟大学全てに出場資格を与えた特例大会で、全日本大学サッカー連盟主催の今年度唯一の全国大会である。

2、中国地域の大学スポーツ大会の実施状況

表6: 中国地区各大学競技連盟主催大会実施状況一覧

| 連盟 | 開幕日 | 大会名等 | 観客等 | 全国大会 |
|----------------|-------|------------------------|---------|--------------------|
| 広島六大学野球連盟 | 9月12日 | 秋季リーグ 各校10試合勝率制 春季中止 | 有 | 明治神宮大会 中止 |
| 中国地区大学野球連盟 | 9月5日 | 秋季リーグ1部:各校10試合勝率制 春季中止 | 無 | 明治神宮大会 中止 |
| 中国大学サッカー連盟 | 9月6日 | 中国大学サッカー選手権 | 無 | #ATARIMAENI CUP 開催 |
| | 10月4日 | 中国大学サッカーリーグ 総当たり1回戦 | 無 | #ATARIMAENI CUP 開催 |
| 中国大学バレーボール連盟 | | 春季、秋季リーグとも中止 | | 秋父宮賜杯全日本バレーボール |
| | 10月3日 | 交流戦開催 | youtube | 大学選手権大会 開催 |
| 中国学生バスケットボール連盟 | 9月26日 | 第72回全日本大学選手権中国予選 | | 全日本大学バスケットボール選手権開催 |
| 中国四国学生剣道連盟 | 5月31日 | 中止 中国四国学生剣道選手権大会 | | 全国大会 中止 |
| | 8月30日 | 中止 中国四国学生剣道優勝大会 | | 全国大会 中止 |
| 中国大学柔道連盟 | 5月23日 | 中止 中国四国学生柔道優勝大会 | | 全国大会 中止 |
| | 8月29日 | 中止 中国四国学生体重別選手権大会 | | 全国大会 中止 |
| 中国大学卓球連盟 | 8月26日 | 中止 中国学生卓球選手権秋季大会 | | 全国大会 中止 |

表6は中国地区の主要競技団体主催大会の実施状況である。感染拡大している最中の4月4日、中国六大学野球の第1節が開幕。(6大学のうち福山大学は活動休止中のため不参加) 全国的にほぼすべての競技において大会を中止もしくは延期にしている状況下での開幕は賛否両論を巻き起こした。しかし翌第2週、第3週の会場が使用を拒否したためそれ以降の継続が困難となり中止が決定。これ以降ほぼすべての競技において7月末までの大会は概ね中止もしくは延期となる。その間各競技団体において新たな大会形式や感染拡大防止策をとった上での大会実施を模索することとなる。野球の場合、広島六大学野球は9月12日、中国六大学野球は9月5日に開幕。通常であれば対戦毎に2勝したチームに勝ち点が与えられる形式であるが、今年度に関しては全対戦2試合ずつの計10試合での勝率制で行われる。秋の明治神宮野球大会(主催:明治神宮、学生野球協会)の中止が10月9日に決定されたため、毎年リーグ後に開催される明治神宮野球大会中国・四国地区大会は中止された。サッカーは前述したように1月に特例の全国大会が開催されるにあたり各地域でその出場権をかけた戦いが繰り広げられている。中止となった総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントは加盟大学全てに出場資格があり、また冬の全国大会である全日本大学サッカー選手権は各地域の1部リーグ所属大学のみ出場資格がある。そのため中国地区では9月13日より延期となっていた中国大学サッカー選手権を開催。その後10月4日より中国大学サッカーリーグ戦を開幕し、それぞれの勝者が1月の全国大会へコマを進めることとなっている。

9 月に再開するものの大学によって活動状況が異なり、課外活動の再開が認められなかった大学（山口大学、岡山大学、島根大学、下関市立大学、近畿大学工学部、川崎医療福祉大学、岡山理科大学）は参加を見合わせた。陸上競技は9月11日に第87回日本学生陸上競技対校選手権大会が新潟で開催。10月2日からは第43回中国四国陸上競技選手権大会が開催。駅伝競技も9月22日に全日本大学駅伝対抗選手権大会中国四国地区予選開催。12月6日には第63回中国四国学生駅伝競走が開催予定である。10月の出雲全日本大学選抜駅伝競走は中止となったものの、11月の秩父宮賜杯第52回全日本大学駅伝対校選手権大会は開催予定である。このように屋外競技の方は9月以降公式戦が開催されているが、屋内競技に関しては感染拡大防止の観点から中止となっているケースが多い。バスケットボールは9月に第72回バスケットボール選手権大会中国地区予選会を開催するものの、バレーボールでは中国大学バレーボール連盟主催の春季及び秋季リーグとも中止。（代替として交流戦が10月に開催）卓球も毎年秋に開催されている中国学生卓球選手権秋季大会及び中国学生卓球連盟会長杯争奪大会とも中止となっている。ただいずれの競技も全国大会は開催予定である。さらに武道に関してはさらに再開が難しく、剣道では全国大会である第68回全日本学生剣道優勝大会および第39回全日本女子剣道優勝大会、第68回全日本学生剣道選手権大会および第39回全日本女子学生剣道選手権大会の中止決定に合わせ、中国四国学生剣道選手権大会および中四国学生剣道優勝大会とも中止になる。また柔道でも全日本学生体重別選手権、全日本学生柔道優勝大会の中止に合わせ、中国学生体重別選手権および中国学生柔道優勝大会も中止となっている。お互いの距離が緊密になりやすい武道では未だに対人の稽古も自粛しているケースもあり再開までの道のりは遠い。学生アスリートにとっては努力の成果を発揮する場が公式戦である。コロナ禍の中でも感染防止策を徹底した上でできる限り公式戦が開催される状況になることを願うばかりである。

3. 大学スポーツの新たな取組

3.1 公式戦のネット配信

大学スポーツの公式戦が再開したもののその多くが無観客試合となっている。大学スポーツの課題の一つであった「集客」についてこれまでも多くの大学、競技団体等が工夫を凝らし注目を浴びつつあった。2019年度では第56回全国大学ラグビーフットボール選手権大会の決勝（2020年1月11日、会場：国立競技場）が57,345人、全日本大学アメリカンフットボール選手権三菱電機杯第74回毎日甲子園ボール（2019年12月15日、会場：阪神甲子園球場）が33,000人、東京六大学野球秋季リーグ戦・慶応大学 vs 早稲田大学1回戦（2019年11月2日、会場：明治神宮野球場）が27,000人と数万人規模の集客を達成できる競技もある。また、テレビ中継では2020

年 1 月に開催された第 96 回東京箱根間往復大学駅伝競走では番組平均世帯視聴率が 1 月 2 日は 27.5%、3 日は 28.6%と優良なコンテンツとして価値を高めている。その一方で多くの競技ではメディアへの露出や試合中継も限られているのが現状である。テレビでの中継の増加は視聴率やスポンサーの兼ね合いからそれほど望めない中、多くの競技団体で取り組み始めているのが試合映像のネット配信である。2019 年度では大学スポーツ協会 UNIVAS が UNIVAS CUP 指定試合の映像配信をスタート。2020 年度も引き続き「UNIVAS LIVE⁴」として試合のライブ配信を行っている。UNIVAS に加盟する 32 競技団体が開催する大会のうち、全国の大学が参加して大学日本一を決める大会、またそれに相応する大会を競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP」が指定する大会と設定し、ライブ配信のみならず、ハイライト映像、見逃し配信も含めてコンテンツとして用意している。また関東大学サッカー連盟では昨年までも 1 部の試合については映像を配信していたが、2020 年は 7 月の開幕以来主催全試合（関東大学サッカー連盟前後期戦、アミノバイタルカップ）をライブ配信（1 部録画配信）している。この配信は大学スポーツ専門インターネットライブ配信・動画配信サイトであるジェイネット TV⁵ と関東大学サッカー連盟公式 YouTube チャンネルで行われている。また東京六大学野球連盟と株式会社運動通信社が共同で無料ネットライブ配信サービス「BIG6 TV⁶」を提供。2020 年度春季リーグ戦全試合をライブ配信している。また前述したジェイネット TV では第 96 回関東大学バスケットボールリーグ代替試合「オータムカップ 2020」全試合、関東大学バレーボール代替大会女子、2020 関東大学ハンドボールリーグ秋季リーグ、2020 年度東京都大学ソフトボール秋季リーグ戦など関東での大学スポーツを中心に配信。地方に目を向けても YouTube 等での配信が容易になってきたこともあり様々な競技団体が映像配信を始めている。中国大学バレーボール連盟では、2020 年度中国大学バレーボール交流戦を YouTube にて配信している。これまでは各大学のチームでハイライト映像等を配信しているケースは多く見られたが、今後は公式戦のネットライブ配信が広がることで少しでも多くの方々に大学スポーツの魅力を届けることができるのではないかと考える。

3.2 大学スポーツの広報活動、SNS 戦略

スポーツの魅力は「するスポーツ」、「見るスポーツ」「支えるスポーツ」と 3 つの観点から考察することができる。大学スポーツの多くは学生たちが選手として活躍し全国大会出場や好記録を出すことなど「するスポーツ」を目的に入部しているケースがほとんどである。その一方でチームの運営あるいは学連組織の運営など支える側の学生も必要である。支える側の学生たちは選手

⁴ UNIVAS LIVE https://www.univas.jp/live/univas_cup/

⁵ ジェイネット TV <http://www.jnet-tv.com/>

⁶ BIG6 TV <https://sportsbull.jp/category/big6tv/>

との両立が難しいケースも多く、必然的に技量の劣る学生がわまる場合も多い。主務、マネージャーなどの役職に対して意欲的に希望する学生が多くないのが実情である。また、大学スポーツ課題として、その魅力を伝えるための情報発信や広報戦略の不足が挙げられる。それぞれの部活動では選手たちは競技レベルに関係なくひたむきに努力し試合に臨んではいるが、知名度が低くメディアが取り上げてくれるほどコンテンツとしての価値も高くはない。様々なステークホルダーに対して自分たちの活動を発信することでファンを増やし価値を向上していくべく戦略が重要である。しかし携わる人材が不足しているなかで遅れをとっているケースが多い。SNS の発達によって情報発信することのハードルはそれほど高くない中、大学スポーツの各チームにおいてはその意識や意欲によって大きな差が現れ始めている。

表7：大学スポーツチームのSNSフォロワー数_関東(2020.11.1現在)

| 野球 | twitter | instagram | facebook | |
|--------|---------|-----------|----------|--|
| 慶応義塾大学 | 11000 | 5834 | 7390 | |
| 東京大学 | 6009 | 1141 | 4196 | |
| 法政大学 | 2264 | 1954 | 4464 | |
| 明治大学 | 10000 | 1867 | | |
| 立教大学 | 8469 | 8469 | 4478 | |
| 早稲田大学 | 7982 | 3404 | 4817 | |

| ラグビー | twitter | instagram | facebook | |
|--------|---------|-----------|----------|--|
| 慶応義塾大学 | 5655 | | | |
| 早稲田大学 | 15000 | | | |
| 明治大学 | 11000 | 8504 | | |

| サッカー | twitter | instagram | facebook | youtube |
|--------|---------|-----------|----------|---------|
| 明治大学 | 12000 | | | |
| 法政大学 | 7179 | | | |
| 中央大学 | 7300 | | | |
| 専修大学 | 5248 | | | |
| 早稲田大学 | 9445 | | | |
| 筑波大学 | 1958 | 3540 | 2742 | 2400 |
| 慶應義塾大学 | 7186 | | | |

| 駅伝 | twitter | instagram | facebook | youtube |
|--------|---------|-----------|----------|---------|
| 青山学院大学 | 90000 | | 19010 | |
| 駒沢大学 | | 19000 | | |

表8：大学スポーツチームのSNSフォロワー数_中国地区(2020.11.1現在)

| 中国大学サッカー連盟1部所属チーム | | | | |
|-------------------|---------|-----------|----------|---------|
| | twitter | instagram | facebook | youtube |
| IPU環太平洋大学 | 3119 | 1870 | 838 | 579 |
| 吉備国際大学 | 642 | 213 | 514 | 102 |
| 福山大学 | 1169 | 561 | 1984 | 256 |
| 福山平成大学 | 62 | 253 | 205 | |
| 広島大学 | 704 | 310 | 518 | |
| 広島修道大学 | 557 | 315 | | |
| 広島経済大学 | | 205 | 929 | |
| 鳥取大学 | 607 | 132 | | 30 |
| 山口大学 | 664 | | | |
| 徳山大学 | 808 | 191 | 13 | |

| 広島六大学野球連盟所属チーム | | | | |
|----------------|---------|-----------|----------|---------|
| | twitter | instagram | facebook | youtube |
| 広島大学 | 605 | 236 | | |
| 広島経済大学 | 197 | | | |
| 広島修道大学 | 438 | 152 | 14 | |
| 広島国際学院大学 | | | 315 | |
| 広島工業大学 | 265 | | | |
| 近畿大学工学部 | | | | |

| 中国六大学野球連盟所属チーム | | | | |
|----------------|---------|-----------|----------|---------|
| | twitter | instagram | facebook | youtube |
| IPU環太平洋大学 | 2808 | 1341 | 51 | 103 |
| 吉備国際大学 | 1512 | 502 | 83 | |
| 福山大学 | | 92 | | |
| 広島文化学園大学 | 338 | 154 | | |
| 徳山大学 | | 435 | | |
| 東亜大学 | | | 77 | |

表7は関東を中心とした大学スポーツチームのSNSフォロワー数を表したものである。Twitterのフォロワー数の最も多いチームは青山学院大学の駅伝部で約90,000人、以下メジャースポーツ

ツである東京六大学野球の各チームは、InstagramやYouTube等のSNSをうまく活用しファンを増やしている事がよく分かる。地方大学に目を向けてみても、鹿屋体育大学サッカー部などはチームとしてのSNS対策を検討し着実にフォロワー数を増やしている。各SNSの特徴を考慮し、その特徴に合わせたコンテンツを配信し適切なターゲットへ情報を届けることができる工夫をしている。一方、表8は中国地区の大学野球およびサッカー部のSNSフォロワー数を表している。全てのチームがなんらかのSNSアカウントは用意しているが、公式戦の予定や結果の情報の発信が多く、更新頻度も多くないためフォロワー数は増えていない。中国地区ではIPU環太平洋大学サッカー部、野球部が発信頻度も多く、内容も多様になっており上手く魅力をつたえることができています。特にコロナ禍においては、ほぼ活動がストップした状況の中で、情報発信事体もストップしたチームと、逆に普段発信できなかった一人ひとりの思いを綴った文書やチーム紹介、様々な企画などバラエティ溢れる発信を行ったチームとに分かれている。さらにコロナ禍において大学に登校できない状況の中でオンラインでの新歓イベントを開催するチームや、高校生向けのオンラインセミナーを開催するチームなど新たな取り組みが広がっている。

3.3 大学スポーツ新たな展開～横のつながり～

表9：学生団体の主催したイベント一覧

| イベント名 | 主催 | 開催日 |
|----------------------------|---------------------------|---------------|
| 「全国スポーツ学生の集い」 | 全国スポーツ学生の集い運営委員会 | 2019.12 |
| 「マネジメントとは」 | 大学サッカー交流会 | 2020.6.6 |
| 「コロナ時代の大学スポーツ」 | 大学スポーツマネジメント研究会 | 2020.6.13 |
| 「部活SNS会議」 | KCCA学生部 | 2020.6.18 |
| 「成長するチームを作る」 | 大学サッカー交流会 | 2020.6.20 |
| 「3密を避けながら大学スポーツを密に語る会」 | 全国スポーツ学生の集い運営委員会 | 2020.6.27 |
| UNISPO NIGHT「大学スポーツ×キャリア論」 | ユニサカ | 2020.7.16 |
| 「大学スポーツらしさって何？」 | 大学スポーツ学生会議 | 2020.10.11 |
| 「WEIN SYUDENTS SUMMIT」 | WEIN SYUDENTS SUMMIT実行委員会 | 2020.10.17,18 |
| 「withコロナ時代の大学スポーツアイデアソン」 | KCAA学生会部 | 2020.10.25 |
| 「チーム作りを考える」 | 大学サッカー交流会 | 2020.10.31 |
| UNISPO NIGHT「大学スポーツ×組織論」 | ユニサカ | 2020.11.17 |
| 「オフシーズンの戦略会議」 | 大学サッカー交流会 | 2020.11.28 |

2019年UNIVASの設立を中心に大学スポーツを取り巻く環境は大きく変化をしてきた。大学スポーツを社会的資源として戦略的に経営・統治していきさらなる発展を目指す動きも活発化している。大学スポーツは公式戦において良い成績を収めその露出による大学の知名度アップに貢献する機能のみではなく、新たな価値を創造し社会に貢献できる人材の育成がメインテーマになりつつある。その一連の動きの中で、主役である学生自身の意見を集約できる場がほとんどない状況であった。そんな状況の中、2019年12月に「大学スポーツの今と未来を語る全国イベント」が開催された。(主催は全国スポーツ学生の集い学生実行委員会) これまでは体育会として学生の執

行部が各大学の部活動をまとめているケースは多くあり、それぞれが同じような問題意識を持ち日々活動をしていた。各大学の体育会の学生リーダー有志が集い開催されたのが本イベントである。また、同じく 2019 年には関西地区の大学スポーツをまとめ発展を目指す一般社団法人大学スポーツコンソーシアム KANSAI が設立され、その組織の中に学生部⁷を設置。関西中の大学から集った学生達が大学スポーツの発展に取り組み関西から盛り上げる目的で活動をスタートさせている。学生主体の大学や競技を超えたつながりはコロナ禍において更にその動きを加速。練習や試合が停止している状況の中でいくつものオンラインイベントを立ち上げ、大学スポーツの発展のための議論や情報発信を行っている。主な取り組みは表 9 の通りである。学生自ら考え行動を起こし大学サッカーの発展に寄与するために設立された一般社団法人ユニサカ⁸では、大学でサッカーをやる予定の高校生に向けて全国の大学サッカー部の選手、監督等に協力を仰ぎ各チームの紹介など魅力を伝えるネット雑誌「ユニマガ」を発行。2 冊合計 3 万部を超えるダウンロード数となっている。

また、企業やネットメディアも主体的な学生の活動をサポートするケースも増えてきている。一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）は YouTube 等で独自での試合配信を行っている学生に対して「UNIVAS スポーツ実況アナウンス講座」を開講。プロのアナウンサーを講師に迎えて動画配信におけるスポーツ実況の技術等を学べる場を提供している。また、特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan は慶應義塾大学硬式野球部とともに長期療養中のこどもがスポーツチームへの入団を通して、長い療養生活をチームで支える事業「TEAMMATES」を提供し支援をしている。

4. 大学スポーツの価値と大学生アスリートの役割

大学にとって大学生アスリートはかけがえのない存在であることは言うまでもない。一般社団法人大学スポーツ協会では大学スポーツの役割として 1, 卓越した人材育成、2, 人格形成健康増進学力向上、3, 競技力の向上、4, スポーツの経済的価値の創造、5, 地域の活性化、6, 大学のブランド強化と 6 つあげている。大学側は大学生アスリートに期待することとして、日々練習に打ちこみ、試合に勝利することで大学の知名度アップに貢献すること、またはその知名度を生かして入学者の確保に貢献することなどがある。大学スポーツに関わる選手及びスタッフは「勝利」を追求することで価値を高め、学生としての成長を目指す。一方で勝利を追求するあまり、ある意味閉鎖的な組織となる場合もあり、パワハラ等負の側面が発生してしまうケースも多い。

⁷ KCAA 学生部会 <https://pando.life/kcaa-student>

⁸ 一般社団法人ユニサカ <http://unisocc.com/>

しかし今回のコロナウイルスの影響による大学スポーツの活動自粛によって学生たちは大学スポーツの新たな価値を創造してくれた。困難な状況の中で改めて大学でもスポーツに取り組むことの意義について考えるとともに、その思いを SNS 等で発信することで社会に対して示すことにチャレンジしてくれている。さらに、同じ思いを持った学生同士がつながることで、課題や悩みを共有しその解決に向けて議論を重ねる「場」を主体的に生み出してくれた。

一般社団法人日本経済団体連合会の調査によると産業界が学生に求める人物像は1位「主体性」、2位「実行力」、3位「課題設定・解決能力」、4位「チームワーク・協調性」、5位「社会性」となっている。これはまさしく大学スポーツの活動を通じて身に付けることのできる能力である。今後の大学スポーツに携わる学生たちは勝利のためにひたむきに練習を行うだけでなく、組織作りにおいても主体的に関わることが求められ、そこに貢献した学生への評価を高めることが重要である。さらに競技や大学を超えた横のつながりを深め、学生自ら大学スポーツの価値を高めていくことが大学スポーツの未来につながると考える。学生主体のチームに所属するだけでなく本当の意味で主体的に行動できる学生アスリートが増えてほしい。今後はさらに大学スポーツのあり方について考察するとともに、主体的な学生アスリートを増やすために大学や大人がなすべき役割について深く考察していきたい。

参考文献

- 一般社団法人全日本剣道連盟（2020）、「対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」．
- 一般社団法人大学スポーツ協会（2020）、「新型コロナウイルス感染症対策としての UNIVAS 大学スポーツ活動再開ガイドライン」．
- 一般社団法人大学スポーツ協会（2020）、「2019 年度事業報告書」．
- 一般社団法人日本経済団体連合会（2018）、「高等教育に関するアンケート結果」．
- 公益財団法人日本サッカー協会（2020）、「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」．
- 公益財団法人日本スポーツ協会（2020）、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」．
- スポーツ庁（2020）、「令和元年度大学スポーツアドミニストレータ配置事業の成果報告書」．
- スポーツ庁（2020）、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」．
- 文部科学省（2020）、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」．
- 吉田卓史（2020）、「UNIVAS 設立後の大学スポーツの展開に関する一考察」、『福山大学経済学部論集』第 44 巻．

A Study on the Activity Status of University Sports in COVID-19 virus

2020 was supposed to be a turning point for future development in the Japanese sports world. However, due to the worldwide spread of the new coronavirus, it was decided to postpone both the Tokyo Olympics in July and the Paralympics in August. Under the state of emergency, almost all sports activities, both professional and amateur, stopped, and athletes had no place to demonstrate their daily achievements, and even training was not possible. It has been a year for athletes to be challenged in many ways. Under such circumstances, Japan Association for University Athletics and sport (UNIVAS) , which has entered its second year, has started a new initiative. In addition, university athletes are also enthusiastically working to create new value by implementing more proactive efforts than ever before.

Therefore, in this paper, we will summarize the new initiatives of university sports centered on UNIVAS, and consider the new value of university sports through the independent activities of university student athletes.